

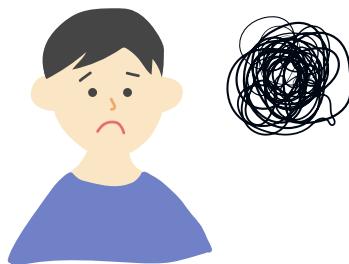
数学が自然に身につくAI学習アプリ



Mathmosis

プロジェクトの背景

日本の中学・高校生は、数学で世界トップ水準の学力があるにもかかわらず、**約半数が数学に苦手意識を抱えている**ことがわかっています。学力が高くても、「数学が得意」「数学が好き」と答える割合が諸外国に比べて低く、学力と苦手意識に乖離があるのが大きな特徴です。また、高校生の3分の2が「中学以前でつまずいた」と回答するなど、苦手意識が定着しやすい現状も明らかになっています（※）。



数学が苦手…

嫌いな教科No.1

このような苦手意識は理数系分野への進路選択を妨げ、将来的にAIやデータサイエンスといった**科学技術分野を担う人材の不足**や、**変化の激しい現代社会で求められる問題解決能力・応用力の不足**につながることが懸念されています。このような課題の解決をすべく、アプリ開発をはじめました。

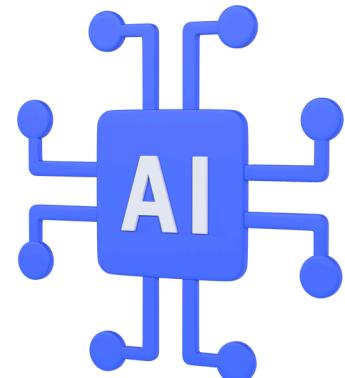
※参考：2023年 国際学力調査（TIMSS）、2024年2月ニフティキッズ「勉強」についての調査、2023年 高校生白書、株式会社atama plus 数学の学習におけるつまずきの実態

サービス概要

Mathmosis（マスモシス）は、数学学習に特化したAIアシスタント搭載タブレットアプリ。解答時の思考のつまずきをAIが解析・自力での理解を促すことで、苦手意識による学習離脱を防ぎ、将来の理数系人材の育成に貢献します。

課題と解決策

- 数学に苦手意識を持つ学生が多い
→**数学特化AIの豊富な解説**
- 個別指導の限界と教員負担の増加
→**パーソナライズドされたAI**
- 自主学習時の「すぐに聞けない問題」が学習離脱を招く
→**AIにリアルタイムでいつでも質問**



使い方は、簡単2ステップ

①撮影



②解く



解き方がわからなくとも、間違ってしまっても、AIからアドバイスがもらえます

特徴

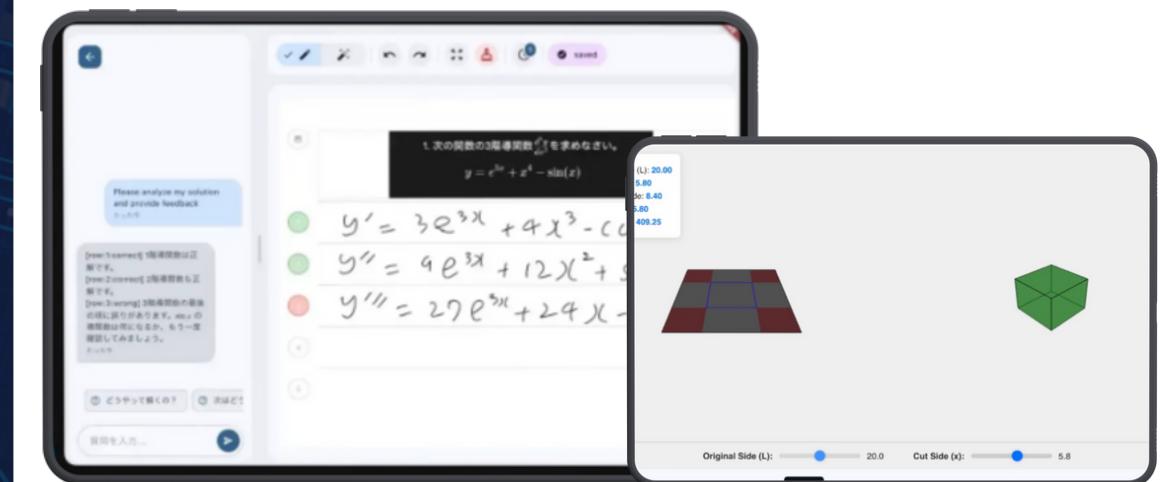
間違いを色で可視化

授業ノートに合わせた解説

ヒント提示で自立学習支援

図形生成で理解を促進

シンプルなUI/UX



事業展開



β版リリース・小規模実証実験



全国展開・ユーザー10万人



海外進出・教育機関への導入